

会社は東二運所長掲示と被害届を撤回せよ！

12月20日、萩原委員長、小林書記長他3名が、最高裁判所の判決を会社が履行しているかの確認をするため、東京第一運輸所および東京第二運輸所に訪れた際、総務科長らは「業務を妨害した」とデッチ上げ、警察に通報した。22日、東京第二運輸所は「身の危険を感じた所員がすぐ警察に通報し事なきを得ましたが、事件の悪質性ゆえに警察に被害届をだすこととしました」「所員自らがこうしたテロリスト的な行為に加担した…」と書いた所長掲示をはり出した。

自分の名刺を渡して、相手の身の危険を感じさせるほど脅迫するバカはこの世にいない。管理者らは、JR東海労と知って、「職場にテロリストが来た」として事件をデッチ上げたのだ。まさに、管理者らは『週刊現代』のテロリストキャンペーンと連携したのだ。

本部は、「東京第二運輸所の掲出された所長掲示の撤回及び謝罪を求める申し入れ」（申第25号）を会社に申し入れた。会社は直ちに、掲示と被害届を撤回せよ！

社員をテロリストと決めつけ、警察沙汰にする現場管理者こそ異常者だ！